

## 60 周年記念式典が挙行される

「師弟同行」を基盤にし、創造性豊かな実践力に富んだ農業担い手の教育・研修機関である農業大学校は今年で創立60周年を迎えました。

これまでに送り出した卒業生は3,200名を超え、先駆的な農業経営の実践者として、また、それぞれの地域に根ざした農業振興のリーダー役などとして、多方面で活躍しています。

式典では校長の式辞に続き、吉村美栄子知事から御挨拶をいただき、農大や学生への期待を語っていただきました。

式典に引き続き開催した記念行事では、「農業・私の挑戦」をテーマにしたパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、全国農業青年クラブ連絡協議会前会長の大越正章氏からの基調提案を踏まえ、農業大学校の卒業生4名のパネラーとの熱心な意見交換がなされました。

学生は、県内各地で活躍している農業大学校の同窓生が農業経営の発展に向けて挑戦する姿にたくさんの刺激を受けていました。



## 今年度も農大市場を開催しています

農業大学校直売所「農大市場」は、本校敷地内を会場に開催する直売市で、今年で11年目を迎えました。

この「農大市場」は、毎年7月から11月まで月1回開催（販売時間は午前10時～午前11時半）しており、学生たちにとっては、丹精込めて生産した農作物や加工品を自らお客様と対面販売することにより、消費者ニーズや安全・安心な農作物に対する意識を深める貴重な実習の場となっています。

学生や農大市場運営協力会（同窓生・研修了生）の方たちが作った農産物や加工品の販売の他に、学生会（農大市場委員会）主催の農大の生産物等が当たる抽選会や無料の振る舞いも行っており、開店前から多くのお客様が並ぶこともしばしばです。

皆様もぜひ農大市場にお越しいただき、新鮮で美味しい農産物等をお試ください。そして、学生たちが楽しそうにいきいきと接客する姿をご覧ください。



## 新規就農支援研修で新規就農者を育成

研修部では、新規就農を目指す人を対象に、新規就農支援研修を開設しています。この研修は、試験研究機関での実習と本校の講義等を組み合わせさせた「基礎コース」、先進農業経営者の下での実習と本校の講義等を組み合わせさせた「実践コース」があり、いずれも1年間の研修です。さらには、「基礎コース」、「実践コース」を学んだ研修生が、より高度な講義や実習を行う2年目の研修として「マスターコース」が用意されています。

今年度は、「基礎コース」20名、「実践コース」3名、「マスターコース」10名が、自身が描く農業経営開始を目指して、研修に励んでいます。

研修生は普段、試験研究機関等での実習を行っています。5月11～12日、6月1～2日、7月16～17日には、本校での集合研修に参加し、「土壌・肥料」「病害虫概論」「農地制度」「先進農業者の事例」などの基礎知識を学びました。また、トラクターやバックホー等の農業機械の安全使用に向けた研修にも参加しています。

これからも、実習と講義等を組み合わせた研修で、農業経営開始に向けた支援を強化していきます。

